

令和元年（2019年）第3回町田市議会 定例会 建設常任委員会

南町田駅周辺地区拠点整備事業について

1. 趣旨・背景

都市計画マスタープランにおいて副次核に位置づけている南町田駅周辺地区の拠点整備を進めるため、2015年6月に『南町田駅周辺地区拠点整備基本方針』を策定しました。本方針で描く地区の将来像実現に向けて、東急株式会社と共同で、「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」を進めています。

2. プロジェクトの進捗

○南町田グランベリーパークのまちびらきについて【3～6ページ参照】

プロジェクトでは、8月に、公園・商業施設及びパークライフ・サイトを中心とした「南町田グランベリーパークのまちびらき」を2019年11月13日に、「スヌーピーミュージアム」の開館を12月14日にすることを決定し、公表しました。

また、まちびらきに先立ち、10月1日から「南町田グランベリーパーク駅」へ駅名改称し、これまで土・日曜日、祝休日のみの急行停車を平日に拡大し、全日急行停車すること、合わせて、つくし野駅とすすかけ台駅も全日準急停車することを決定し、公表しました。



○南町田グランベリーパーク まちのがっこう祭について【7ページ参照】

2017年度から実施してきた、地域の方々と一緒に考えるワークショップを発展させ、南町田グランベリーパークが「まちびらき」を迎えるワクワク感を共有しながら、新しいまちの始まりをみんなで体感する記念イベントとして「南町田グランベリーパーク まちのがっこう祭」を11月2日(土)に開催する予定です。

○工事の進捗について

現在、まちびらきに向けて工事を進めておりますが、南1631号外1路線道路改良工事やパークライフ・サイト内の歩行者通路舗装工事等一部の工事は、年度内の竣工を目指し、継続して行います。

3. プロジェクトの周知

○整備計画検討会の開催について

地元5町内会・自治会との整備計画検討会を8月29日に開催し、プロジェクトの進捗状況（まちびらきやまちのがっこう祭の開催）等について報告しました。

4. スポーツを通じた地域活動における支援策等

2018年第84号議案「町田市公園条例の一部を改正する条例」に対する附帯決議についての対応は以下のとおりです。

○町田市地域スポーツクラブ補助金制度の改正について【8ページ参照】

「町田市地域スポーツクラブ設立及び運営事業補助金交付要綱」を改正し、地域スポーツクラブが施設を使用する際の利用料金に係る活動助成についての措置を設けました。

〔改正内容〕

年間20万円を上限に、施設の種類に応じて、定められた利用料金から1,040～6,280円を控除した額を補助するもの。（9月1日施行）

○鶴間公園スポーツ施設の利用料金設定について

鶴間公園のうち、線路側の「運動広場」については、土日・祝日を除く平日の市民利用を「無料」とすることとしました。

なお、鶴間公園指定管理者のTSURUMAパークライフパートナーズから、レンタル品や備品の充実を図るとともに、約10年間の指定管理期間を活かして、概ね3年程度ごとに、利用・収入実績を踏まえて、料金設定を含めた運営事業全体の中期的見直しを行うとの提案を受けています。

5. 鶴間公園 有料施設利用の申込開始について【9ページ参照】

まちびらきの11月13日から順次、施設利用に予約が必要となるスポーツ施設が利用できるよう、以下のとおり進めます。

○11月分

まちびらき直後の11月中の期間に限り、各施設を無料でお使いいただけるようにします。9月1日から「まちだ施設案内予約システム」において、施設利用の申込を開始しました。

○12月以降分

9ページに記載の利用料金設定として、運用を開始する予定です。

6. 今後の進め方

2019年11月	2日	南町田グランベリーパーク	まちのがっこう祭	開催
	11月13日		まちびらき	
	12月14日	スノーピーミュージアム		開館
2020年度				土地区画整理事業の完了

以上



10月1日に「南町田グランベリーパーク」駅へ駅名改称、全急行列車が停車
南町田グランベリーパーク 2019年11月13日に「まちびらき」決定
 ～スヌーピーミュージアムは12月14日オープン～

町田市、東京急行電鉄株式会社、株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツの3者は、官民連携で開発を進める「南町田グランベリーパーク」(以下、本計画)について、2019年11月13日(水)にリニューアルした駅、商業施設、公園、パークライフ・サイトが「まちびらき」を迎えるとともに、12月14日(土)に「スヌーピーミュージアム」を開館することを決定しました。



© Peanuts Worldwide LLC

本計画は、田園都市線南町田駅の南側に広がる鶴間公園と旧グランベリーモール跡地を中心とする約22ヘクタールのエリアについて、官民が連携して、郊外住宅地に魅力あふれる「新しい暮らしの拠点」を創り出す、まちづくりプロジェクトです。全234店舗が出店する商業施設の開発、新しいまちの玄関口となる駅や、緑豊かな憩いの場の都市公園のリニューアルに加え、商業施設と公園の中間に位置する「パークライフ・サイト」には、スヌーピーミュージアムが開館します。

「まちびらき」に先駆け、2019年10月1日(火)に「南町田」駅から「南町田グランベリーパーク」駅へ駅名を改称します。さらに、同日実施のダイヤ改正により、これまで土休日のみだった急行列車の停車が平日にも拡大するとともに、日中毎時2本の大井町線急行列車が中央林間まで直通運転となることで、各方面からのアクセスが大幅に向上します。リニューアルした駅構内は、新しいまちの玄関口にふさわしく、自然を感じられる空間演出を施し、まちと駅とが一体となるように植栽エリアや水が流れるスペースを設ける予定です。

また、「まちびらき」に合わせて新しく生まれ変わる鶴間公園は、指定管理者として「TSURUMA パークライフパートナーズ」(株式会社石勝エクステリア・東急スポーツシステム株式会社・日本体育施設株式会社)が選定されました。町田市の公園としては初めて、約10年間に拡大した指定管理期間を活かして、南町田グランベリーパークの中心的なメンバーの一員としてパークマネジメントに取り組みます。

そして、12月14日(土)に開館するスヌーピーミュージアムは、10月1日(火)からチケット販売を開始します。なお、隣接する PEANUTS Cafe(ピーナッツ カフェ)は、「まちびらき」に合わせて11月13日(水)に先行オープンします。

鉄道駅に直結して都市公園と商業施設が隣り合い一体となる、南町田グランベリーパークならではの環境を最大限に活かし、「持続可能なまちづくりに向けた多世代の交流・循環の起点」となる「新しいまち」の誕生を目指します。

本計画についての詳細は別紙のとおりです。

以 上

(参考)本日、この資料は国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、ときわクラブ、レジャー記者クラブ、都庁記者クラブ、および町田記者会にお届けしています。

【別紙】

1、「まちびらき」スケジュール

2019年11月13日(水)にリニューアルした駅、商業施設、公園、子どもクラブや PEANUTS Cafe(ピーナッツ カフェ)をはじめとしたパークライフ・サイトが「まちびらき」を迎えるとともに、12月14日(土)にスヌーピーミュージアムが開館します。

また、「まちびらき」に先駆けたイベントとして、11月2日(土)に「南町田グランベリーパーク まちのがっこう祭」の開催も予定しています。2017年度から実施してきた地域の方々と一緒に考えるワークショップを発展させ、南町田グランベリーパークが「まちびらき」を迎えるワクワク感を共有しながら、新しいまちの始まりをみんなで体感する記念イベントとして開催する予定です。

2019年11月13日(水)「南町田グランベリーパーク」まちびらき

② 鶴間公園
2019年11月13日(水)開園



① 南町田グランベリーパーク駅
※2019年10月1日(火)駅名改称




③ 商業施設「グランベリーパーク」
2019年11月13日(水)開業



④ パークライフ・サイト
2019年11月13日(水)開業
・まちライブラリー
・PEANUTS Cafe(ピーナッツ カフェ)
・子どもクラブ(児童館)
・ワークショップスペース

2019年12月14日(土)開館
スヌーピーミュージアム



2、スヌーピーミュージアム/PEANUTS Cafe(ピーナッツ カフェ)



© Peanuts Worldwide LLC

12月14日(土)に開館するスヌーピーミュージアムは、スヌーピーファンの聖地・シュルツ美術館(米カリフォルニア州)の世界唯一の公式サテライト(分館)として、原作「ピーナッツ」とスヌーピーの魅力を貴重な原画や資料で紹介します。六本木にあった旧ミュージアムの約2倍の規模となり、隣接するパークライフ棟には PEANUTS Cafe(ピーナッツ カフェ)を併設。カフェはミュージアムのチケットなしでもご利用できるようになり、「まちびらき」に合わせて11月13日(水)に先行オープンします。なお、ミュージアムやワークショップのチケットは、10月1日(火)より販売開始となります。詳細は9月30日(月)にリニューアルオープンする公式サイトにて発表します。

3、子どもクラブ 名称・ロゴ



子どもクラブの名称・ロゴを決定しました。名称は、鶴間小学校の児童たちが、「“つ”るまの“み”んなの“き”ぼう」の意味を込めて名付け、「南町田子どもクラブつみき」に決定しました。

町田市初となる民設民営の子どもクラブとして、目の前にある公園、同じエリア内のまちライブラリーやミュージアムと連携して、子どもたちにとってここでしか味わえない体験に溢れた児童館を目指します。

4、鶴間公園

◆パークライフの中心となる2つの芝生広場

・さわやか広場

芝生に寝転んでピクニックをしたり、テラスに腰かけてゆったりと過ごせたり、イベントも楽しむことができる広場です。

・にぎわい広場

水道みちを挟んで、さわやか広場と緩やかにつながる新しい広場です。桜を囲んだ大きなテラスが特徴です。



◆新しい公園の華やかな西側エントランス

・水道みち

けやき並木が連なるシンボリックな景観です。散歩道としてはもちろん、その長く幅広い空間をマルシェなどのイベントにも活用していきます。

・四季のテラス

水道みちに面した斜面が、桜に加えてイロハモミジやたくさんのお花で彩られ、四季の移ろいを感じながら散歩できます。



◆身体を気持ちよく動かして健康になるスポーツエリアと運動広場

・スポーツエリア

テニスコートや人工芝グラウンドでは、子どもも大人も楽しくスポーツに親しめます。

・運動広場

つるまの森のみどりに囲まれた芝生張りのグラウンドで、周囲にはジョギングのトラックを設けます。



◆3種類を遊びまわって楽しい子どもたちのプレイグラウンド

・3つの「あそびば」

“森”の中の大型遊具が特徴の「森のあそびば」、
“星”型の砂場など幼児が安全に遊べる「星のあそびば」、
川辺で“水”を感じて伸びやかに運動できる「水のあそびば」、
3つのプレイグラウンドを子どもたちがめぐりながら
身体をいっぱい使って、思い切り遊ぶことができます。



◆鶴間公園の新しい顔となるクラブハウス

みどり豊かな公園になじむ木質のクラブハウスです。公園全体の管理やスポーツ施設の貸出を行うほか、ロッカー&シャワー、スタジオ、カフェを併設し、境川沿いのランナーやサイクリストが気軽に立ち寄り、休憩できるスペースとしても利用できます。



◆つるまの森

古くこの場所が里山であった風景を受け継ぐものです。
この森の中をじっくりと楽しめるように、
散策路や休憩できる場所、ベンチなどを随所に配置しました。
散策路には、日常の生活動線としても安全安心に利用できるよう、
自然環境に配慮した落ち着いた照明を設けています。



(参考)「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」の概要

「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」は、南町田駅周辺に位置する鶴間公園と、2017年2月に閉館したグランベリーモール跡地を中心に、官民が連携して、都市基盤、都市公園、商業施設、駅などを一体的に再整備し、「新しい暮らしの拠点」を創り出していくプロジェクトです。駅周辺に都市公園と商業施設が隣接するまちの資源を最大限に生かし、自然とにぎわいが融合した、魅力的な拠点を創出します。

高齢化や人口減少の動向を見据え、新たな住民の流入、地域の住み替えサイクルによる世代間の循環、地域にお住まいの方々やまちを訪れる方々を交えた活発な交流を生み出すことで、良好な住宅市街地とコミュニティを次世代に繋ぐ、持続可能なまちづくりを目指します。

面積 約22ha

交通 田園都市線南町田(南町田グランベリーパーク)駅直結 / 東名高速道路横浜町田ICから約1分



「南町田グランベリーパーク」俯瞰イメージ



商業施設「グランベリーパーク」内 広場イメージ

■南町田駅周辺地区拠点整備基本方針

町田市では、2015年6月に、「町田市都市計画マスタープラン」でにぎわいの拠点「副次核」に位置づけた本地区の将来の姿を描く、「南町田駅周辺地区拠点整備基本方針」を策定しました。

※町田市ホームページ(南町田駅周辺地区拠点整備基本方針)

<http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/sumai/toshikei/ekisyuhenmachidukuri/minamimachidamachidukuri/index.html>

※南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ

<http://minami-machida.town>



南町田
拠点創出まちづくり
プロジェクト

<商業施設計画概要>

施設名称	「グランベリーパーク(Grandberry Park)」		
所在地	東京都町田市鶴間三丁目3-1、4-1 他		
敷地面積	約83,000㎡	延床面積	約151,000㎡
店舗面積	約53,000㎡	店舗数	234店舗
駐車場	約2,000台		
着工	2017年5月9日		
設計	株式会社東急設計コンサルタント		
施設デザイン	株式会社LLT (ラグアルダ・ロウ・棚町建築事務所)		
ランドスケープデザイン	Fd Landscape		

<公園計画概要>

施設名称	鶴間公園		
所在地	東京都町田市鶴間一丁目、二丁目及び三丁目の各一部 他		
面積	約7.1ha	駐車場	133台
工事期間	2018年度~2019年度		
基本設計	Fd Landscape		

南町田グランベリーパーク まちのがっこう祭さい をみんなで作ろう! 準備会議

全3回



2017年の「鶴間公園のがっこう祭」(写真)、2018年の「南町田のまちのがっこう祭」に引き続き、今年は11月2日(土)に「南町田グランベリーパークまちのがっこう祭」を開催します。まちのがっこう祭で新しい公園を楽しく活用するアイデアを一緒に実現し、盛り上げて頂ける出展者の方々を募集します!

対象 ・準備会議①②及びがっこう祭に参加可能な方
・まちのがっこう祭に出展したい方や運営に関わりたい方
・これから南町田グランベリーパーク周辺で活動していきたい個人、団体の方々

定員 申込制 / 100名 (40ブース程度を想定)
※申込み多数の場合は抽選

参加費 無料 ※別途、出展に関連する備品類はご用意下さい。なお、テント・机・イスをご希望の方は実費をご負担いただき、運営側でご用意することも可能です。

場所 **準備会議①: セミナープラス南町田**
(東京都町田市鶴間 3-10-2 / 東急田園都市線「南町田」駅南側改札口 徒歩5分)
準備会議②: 町田市立鶴間小学校
(東京都町田市鶴間 4-17-1 / 「南町田」駅南側改札口 徒歩10分)
まちのがっこう祭: 鶴間公園
(東京都町田市鶴間 3-1-1 / 「南町田」駅南側改札口 徒歩3分)



準備会議 ①

2019年 9/14(土)

13:30 ~ 16:30

場所: セミナープラス南町田

- **ガイダンス**
・これまでの取り組み紹介と、今年の企画について
・出展に関するガイダンス
- 「まちのがっこう祭」に向けた企画づくり
・公園でやってみたい企画の発表
・参加者同士が顔見知りになるための交流
- 新しくなった公園をみんなで作って盛り上げていくためのアイデア集め

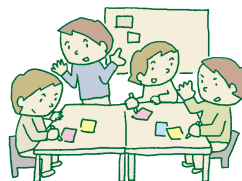
準備会議 ②

10/6(日)

13:30 ~ 16:00

場所: 鶴間小学校体育館

- 「まちのがっこう祭」に向けた企画づくり
※状況に応じて相談会あり



まちのがっこう祭

11/2(土)

(時間未定)

場所: 鶴間公園

- 準備会議で作った企画の実施
- 鶴間公園で伐採した樹木を活用し、新しい施設(パークライフサイト)を市民参加で「仕上げる」ワークショップの実施



申込方法

※プロジェクトページで申込書の書式が入手できます

氏名、性別、年齢、住所、Eメールアドレス、電話番号、ファックス番号(ある方のみ)、①出展企画の仮タイトル・仮の団体名・出展者名、②出展に向けた想い(応募のきっかけ、実現させたいことなど)、③その他、ご所属、ご質問等、託児希望の有無を右記の町田市都市政策課に電話でお伝えいただくか、郵送、メール、ファックスでお送りください。締切9月2日(月)(必着)

託児あり

1歳~未就学の子どもの対象。定員あり。先着順。託児希望の場合は申込時に「託児希望」と明記してください。託児申込書をお送りします。

問い合わせ

〒194-8520 東京都町田市森野二丁目2番22号
町田市都市づくり部都市政策課
電話 042-724-4248 ファックス 050-3161-5502
Eメール mcity3000@city.machida.tokyo.jp
プロジェクトページ <http://minami-machida.town/>



地域スポーツクラブに対する施設使用料に関する補助金について

(1) 従来補助金

	設立に係る事業（準備）	管理運営に係る事業
団体の種別と支給回数	地域スポーツクラブを設立しようとする準備団体が、年1回・最大2回受け取ることができる	地域スポーツクラブを設立した団体が、年1回・最大3回受け取ることができる
補助金	150,000円	300,000円
対象経費	報償費（講師の謝礼金） 需用費（消耗品、印刷製本、光熱水費） 備品購入費（3万円以上の物品） 旅費、役務費、委託料、使用料及び賃借料	

(2) 補助金交付要綱改正部分（概要）

補助の概要	補助金交付対象となる地域スポーツクラブ及び地域スポーツクラブ準備団体が、スポーツ施設を使用する場合において、基準額を超える使用料がかかる場合は、使用料の一部について一定の額の範囲内で補助を受け取ることができる。（最大5年間）
補助金の上限額	スポーツ施設の使用料から、各基準額を控除した額を、年間20万円を上限に補助する。
基準額	公園条例、体育条例に規定するスポーツ施設の使用料の内、次の基準額を超える部分の額 (1) 人工芝のグラウンド 2時間につき6,280円 (2) (1)に掲げるグラウンド以外のグラウンド及び広場 2時間につき2,090円 (3) テニスコート 2時間につき1,040円を超える額

鶴間公園有料施設のオープン時期及び利用時間等について

	テニスコート		運動広場		多目的室		グラウンド	
オープン時期	11月13日予定 (11月中無料)		11月13日予定 (11月中無料)		11月13日予定 (11月中無料)		12月上旬予定	
利用時間	午前9時～午後9時 (2時間単位での利用)		午前9時～午後5時 (2時間単位での利用)		午前9時～午後9時 (2時間単位での利用)		午前9時～午後9時 (2時間単位での利用)	
利用料金 (グラウンド は、上段が全 面、下段は1 ／3)	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
	平日	平日	平日	平日	平日	平日	平日	平日
	1,800円	3,700円	無料	12,000円	1,500円	3,000円	11,000円	22,000円
	土日祝日	土日祝日	土日祝日	土日祝日	土日祝日	土日祝日	3,700円	7,500円
	2,500円	5,000円	8,000円	16,000円	2,000円	4,000円	15,000円	30,000円
照明設備 (グラウンド は、上段が全 面、下段は1 ／3)	400円(30分単位)		/		/		1,400円(30分単位)	
							500円(30分単位)	
利用種目	テニス(硬式、軟式)		少年野球(軟式)、ソフトボ ール、サッカー、サッカー(少年 少女)、ラクロス、ターゲット バードゴルフ、グラウンドゴ ルフ		卓球、空手、合気道、少林寺 拳法、太極拳、武道・格技 (その他)、社交ダンス、エア ロビクス、フォークダンス、ク ラシックバレエ、モダンバレ エ、スクエアダンス、民謡・盆 踊り、ダンス・踊り(その他)、 健康体操、親子体操、リズム 体操、器械体操(子供)、ヨ ガ、気功、体操(その他)		少年野球(軟式)、サッカー(少 年少女)、フットサル	